

# みしま

今日はどこの鳥追いだ  
長者様の鳥追いだ  
ホヤーーホヤーー



2013

2

February

広報みしま No. 239

松原地区の民俗行事「鳥追い」は1月14日夜に行われ、地区の皆さんによって受け継がれました。集落を歩きながら、昔から伝わる歌で鳥を追いかけて、豊作を願う小正月の習わしです。雪が降る静かな山村の夜に、子どもたちの歌声がこだましました。

- 2 美しい町美しい風景 Vol.06  
「団子さし」
- 3 申告相談
- 4 地区座談会報告
- 8 TownNews7 みしまの出来事  
消防出初式、無火災記録更新まであと少し／三島初市／三島中男子バレーボール部、東北大会出場／三島保育所、三島小で団子さし体験／文化財防火訓練／各地区でサイノカミ／佐久間宗一さんが事例発表
- 10 **ズームイン6**  
**町民記者の地元密着通信**  
数々の初春行事を受け継ぐ／古峯神社参拝／新春麻雀大会／早戸で神社参拝と新年会／宮下で新年会／宮下地区のサイノカミ
- 12 **民話** 第23話 疫病神  
2月の納税／ご寄附／区市町村広報コンクール、当町が特選
- 13 **プレイバック広報みしま No.1**  
西方中特設水泳部、河沼方部大会17連覇  
大石田の七日堂／雪原に野生動物の足跡
- 14 ちびっこ探検学校ヨロン島参加者募集／ふくしま大卒等ジョブフェア、合同就職面接会／会津坂下警察署からのお知らせ／町の人口と世帯
- 15 **県立宮下病院から**  
診療日記、柏木真人医師  
地域ふれあいサロン予定／保健・子育て・健康づくり実施予定／降雪・積雪の推移
- 16 「撮」っておきのみしま町  
フォトコンテスト入賞作品



ミズノキの枝に団子をさし、神棚の前などに飾る行事「団子さし」

美しい村 Vol.06  
美しい風景

団子さし

小正月の行事

幸せを祈り、願いを込めて、  
団子の木を色とりどりに飾る。

家々で行われる「団子さし」。ミズノキの枝に団子をさして飾る習わしです。当町では1月14日に「団子さし」、そして15日に「サイノカミ」という小正月行事の流れが受け継がれています。寒さが最も厳しく、雪も増える時期。花のない季節に、満開に花が咲いたように部屋の中を華やかにしようと、赤や黄の団子も飾る風習があります。また商売繁盛や長寿を願って、俵や小判、鶴や亀が飾られます。

国の重要無形民俗文化財「三島のサイノカミ」をはじめ、小正月には多くの習わしが残っています。農具や刃物など日常使っている道具を並べて供え物をする「道具の年取り」。田植えをするように雪の上に稲穂などを立て、豊作を祈る「初田植え」。子どもの歌声がこだまする「鳥追い」。また忙しく働いた女たちが休み、男たちが家事をする「女の正月」ともいわれました。小正月の行事は、「ふるさと」の情景そのものです。

広報みしま紙面クイズ No.1

ふゆ ぎょうじ えん ぎもの  
冬の行事のとき、縁起物  
としてまかれるものは？

はついち ゆき 初市や雪まつりなど冬の  
ぎょうじ ことりやく えん ぎ  
行事では、御利益のある縁起  
もの 物としてある物がまかれます  
ね。たくさんの人がそれを拾  
あつ ひと  
いに集まります。さて何でしょ  
うか。ページをめくって答え  
を採しにいきましょう。



福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km<sup>2</sup> ■人口 1,907人 (1月1日現在)



# 相談 申告

忘れずに申告しましょう。

平成24年分所得の申告相談を行います。  
各地区の実施日に合わせておいでください。

日 時	対象地区	場 所
2月7日(木) 9:00～11:00	滝原	滝原林業集会センター
	13:30～15:30	早戸
8日(金) 9:00～11:00	浅岐	浅岐集会所
	13:30～15:30	間方
13日(水) 9:00～15:00	桧原	桧原多目的集会所
14日(木) 9:00～15:00	川井	川井集会所
15日(金) 9:00～11:00	小山・高清水	高清水集会所
	13:30～15:30	桑原
18日(月) 9:00～15:00	大石田	大石田生活改善センター
20日(水) 9:00～15:00	西方(1～7組)	西方ふるさとセンター
21日(木) 9:00～15:00	西方(8～14組)	西方ふるさとセンター
26日(火) 9:00～11:00	大登	大登生活改善センター
	13:30～15:30	名入
27日(水) 9:00～15:00	大谷	大谷活性化センター
28日(木) 9:00～15:00	滝谷	滝谷集会所
3月7日(木) 9:00～15:00	荒屋敷・中平	
	9:00～15:00	宮下(宮下・上ノ原・米子沢・青方・建堀)
8日(金) 9:00～15:00	宮下(居平・館・水尻・田中・中田・中乙田・下乙田)	町民センターふれあいの間
*10日(日) 9:00～15:00	全地区	町民センターふれあいの間
13日(水) 9:00～15:00	所得税白色申告者	町民センターふれあいの間

※3月10日(日)は平日の各地区での相談日に都合が悪い方を対象とします。

## ◆申告が必要な方

- ① 農業・営業などの事業所得、地代・家賃などの不動産所得、土地(地上権等を含みます)・建物を売却したことによる譲渡所得などがあつた方(農業・営業・不動産所得のある方は、事前に「収支内訳書」に記載して申告相談においでください)
- ② 給与収入のある方で⑦年末調整を行っていない方④年末調整済みの給与以外からの給与収入が20万円以上あつた方⑤勤務先等から役場へ給与支払報告書の提出のない方⑥給与以外の所得がある方(※申告不要の場合もあります)
- ③ 収入が公的年金のみで、各種控除(社会保険料控除、生命保険料控除など)を受ける方
- ④ 非課税年金(遺族年金・障害年金)のみ受給している方(※申告していない場合「未申告」となり、国保税、後期高齢者医療保険料などの保険料軽減、国民年金保険料の免除申請ができませんのでご注意ください)
- ⑤ 平成24年中に収入のなかつた方
- ⑥ 親族の申告(年末調整を含む)の中で「扶養控除」の対

## ◆申告が不要な方

- ① 所得税の確定申告をしていない方
- ② 公的年金収入だけの方で、65歳未満「70万円以下」、65歳以上「120万円以下」の方
- ③ 公的年金とは厚生年金・国民年金・共済年金・農業者年金などです。年齢は平成24年12月31日が基準となります。
- ④ 年末調整をした給与以外に収入のない方

## ◆申告に必要なもの

- ① 印鑑(所得税の確定申告の方は銀行印、金融機関の口座番号が分かるもの)、申告書
- ② 収入金額と必要経費が分かるもの
- ③ 各種控除を証明できるもの
- ④ 医療費控除を受ける方は、領収書などの金額を「氏名」「医療機関」別に集計してきてください。(※その場で計算を行うと時間がかかり、待ち時間が長くなります)



町政について報告、意見交換を行った地区座談会（写真は名入地区座談会）

# わたしたちの 町は、地区は

## 地区座談会報告

地区座談会は11月26日から12月21日にかけて町内15会場で行われ、合計196人の町民の皆さんが出席しました。

町からは二瓶町長、各課長などが出席し、「日本で最も美しい村」連合加盟と地区支援状況、三島町住環境整備検討委員会、会津桐タンス(株)経営再生計画、その他について説明と質疑応答、意見交換を行いました。その主な内容を報告します。

### ①「日本で最も美しい村」連合加盟と地区支援状況について

〔質問〕 加盟した際の条件が欠けた場合などで、除名される可能性はあるか。

〔回答〕 5年に一度の再審査があります。景観等を保護する条例制定など、指摘を受けた点の改善に取り組みます。

〔質問〕 お客様に来てもらうことが目的なのか。

〔回答〕 町のいいところを残していき、お客様にも来ていただきたいと考えています。

〔質問〕 加盟町村について、ホームページで見ることができるのか。

〔回答〕 連合のサイトで見ることが出来ます。

〔質問〕 美しい村の加盟はよかったが、振興計画は欠陥が多い。今後、町長は町をどうしていくのか考えを聞かせてほしい。

〔回答〕 振興計画に基づく実施計画は3年分について毎年見直します。審議委員会を開き、必要に応じて改善していきます。

〔質問〕 地区支援事業はいつ

申し込みをするのか。

〔回答〕 来年度、早い時期に募集を始めます。まずは地域政策課にご相談ください。

〔質問〕 地区支援事業の助成額はどのくらいなのか。

〔回答〕 上限50万円です。

〔質問〕 地区支援事業の審査基準はあるのか。

〔回答〕 事業内容や費用等を総合的に審査しています。

〔質問〕 町に景観条例はあるのか。

〔回答〕 ありませんので制定に向けて今後取り組みます。

〔意見〕 たばこのポイ捨てなどについて、条例等の規制をどうするか。

〔回答〕 さらに美しい村をつくるために、普及啓発しながら検討していきます。

〔意見〕 来訪者の中には畑を踏み荒らしたり、ゴミを落とす者もいる。SL運行時、農作業ができなかったことも、対策を検討してほしい。

〔回答〕 来訪者と町民がうまくやっていく必要があります。対策については今後検討していきたいと思えます。

〔意見〕 枝線の「ゴミが目立つ。美しい村のために、町を上げ

て定期的な清掃などやっつてはどうか。

〔回答〕各地区での美化活動を引き続き支援しながら、美しい村づくりの活動を広げていきたいと思えます。

〔意見〕観光的なものもいろいろ、農林業に力を入れてこそ「美しい村」だと思える。耕作放棄地の活用に対して助成があると助かる。

〔回答〕耕作放棄地の解消は景観の面でも重要なので支援の方策を検討します。

## 2 三島町住環境整備検討委員会について

〔質問〕空き屋の解体の助成額はいくらなのか。

〔回答〕対象経費の3分の2以内の額で上限100万円とされています。助成対象は居住していた家屋のみで、小屋や土蔵は対象外としています。

〔質問〕住む場所があっても、働く場所がない。その検討はしているか。

〔回答〕起業に対して上限100万円の助成、新規雇用(増員)に対して月額5万円(10万円の助成を行っていま

す。申請条件があるのでご相談ください。

〔意見〕住む場所も重要だが、働く場所がないことのほうが問題ではないか。

〔回答〕住宅が足りないために町に住みたくても住めず、町外から通勤している方もいます。そのような現状を踏まえて検討しています。

〔意見〕高齢者が安心して老いていくために、若い人の協力も必要となる。若者が働く場所を作って若者定住を考えたい。

〔回答〕働く場、住む場、学ぶ場の三つをそれぞれ考えていきたいと思えます。

〔意見〕三島町には小児科、眼科、歯科等がない。タクシーもなく、町営バスは祝日は休みである。住宅よりもそういった基本的な部分が重要ではないか。

〔回答〕必要性は認識しており、住環境整備を進めながら検討していきます。

〔意見〕今後人口がどうなっていくかをイメージした上で、建てる建てないの話をすべきである。

〔回答〕住宅需要にに応じて

ない現状があり、住宅の必要性を感じています。

〔質問〕町に一人暮らし老人は何人いるのか。

〔回答〕65歳以上の一人暮らしは138世帯、二人暮らしは137世帯です。

〔意見〕一人で生活するのは不安だが、介護施設に入るほどではない老人が増えている。そのような方を対象とする住宅を検討すべきだ。

〔回答〕高齢者住宅建設部会で検討しています。

〔質問〕住環境整備検討委員会の委員は何人か。定期的な開催か、それとも不定期か。多くの町民の意見をくみ取る方策となっているのか。

〔回答〕委員会は町内組織代表、役場課長など10人で構成し、部会を設置して計画策定を進めています。会議は不定期に行っています。

〔質問〕町営住宅を建てることか前回の委員会なのか。

〔回答〕基本的に建設することか前提です。

〔意見〕検討委員会の広報は分かりやすくしてほしい。

〔回答〕広報により情報共有を図りながら進めたいと思

ます。

〔意見〕空き家の活用を進めてほしい。

〔回答〕希望に対して紹介できる物件が少ない状況です。貸せる空き家があれば情報提供をお願いします。また改修・解体の助成制度を、町を離れている方にも周知したいので、町民の皆さんにもご協力いただきたいと思えます。

〔意見〕空き家を町営住宅として活用できないか。

〔回答〕その方策も検討しますが、所有者の権利や立地条件などの問題があります。

〔意見〕「美しい村」として、自然エネルギーを活用するなどモデル的な住宅を整備できないか。

〔回答〕太陽光や木質バイオマスなど、自然エネルギーの活用も検討しています。

〔質問〕高齢化などにより今後の意向等が分からない空き家に対して、町ではどのように対処していくのか。

〔回答〕意向や権利関係がはっきりしない、分からないという空き家は今後増えると思われる。しかしただ待っているだけではなく、積極的に情

報を得るよう努めたいと思

ます。

〔質問〕危険家屋に対してはどのように対処するのか。

〔回答〕代執行も考えられませんが、費用回収などの問題があり、実際には難しいと思

います。町としては所有者に指導するなどの対応をとりたいと思えます。

〔質問〕町営住宅への入居希望者の状況はどうか。

〔回答〕町外から当町への通勤者、当町から町外への通勤者などの需要があります。また子どもが大きくなった世帯にとっては狭い、単身者にとつては広すぎるといった声も聞かれます。部屋数に余裕がなく、新たな入居希望に十分応えられない状況です。

〔意見〕住宅をどこに建てるのか。現状では便利な場所に建っているとはいえない。また住む場所だけでなく、学ぶ場所、働く場所がそろわないと定住することはできない。

〔回答〕町での暮らしを考えながら、より良い建設地、建設方法などを委員会で検討し、明確な方針を示したいと思

### 3 会津桐タンス(株)経営再生計画について

〔質問〕再生委員はどんな人がやっているのか。

〔回答〕取締役、社員2人、商工会1人、県商工会連合2人、株主1人です。

〔意見〕桐タンスは町の重要な産業ということは理解している。しかし損失をこれ以上増やすことは許されない。

〔回答〕会津桐タンス(株)にもその旨を伝えます。

〔意見〕経営状況を公表して町民の理解を得なければならぬ。

〔回答〕今後も公表します。

〔意見〕毎年赤字なのに様子を見ている時間はあるのか。普通の企業であれば倒産している。やめれば予算を地区のために使えるのではないか。

〔回答〕従業員の雇用を守るためにも、急にやめるわけにはいきません。

〔質問〕3年をめどに改善に向けて取り組むというが、3年後も赤字が解消されない場合はやめるということか。

〔回答〕町民の皆さんの意見を聞きながら検討していきたく

と考えています。

〔質問〕代表取締役が町長となっているが、赤字の時に町から金を出すためなのか。また町長が代わったら新町長が代表になるのは不信に思われるのではないか。

〔回答〕大株主(70%)が町なので町長が代表取締役に就いています。町がお金を出すために代表になっているわけではなく、株主の中で代表をやってもらえる方がいないので、町長が代表となっています。

〔質問〕取締役の報酬はあるのか。

〔回答〕ありません。

〔質問〕従業員の給与カットなど人件費の削減は行っているか。

〔回答〕株主総会や再生委員会の中でも人件費削減の話は出ていますが、実際には行っていません。

〔質問〕町が出資している5000万円は繰越損益に充てるものなのか。

〔回答〕町出資の5000万円は会社を作るための資本金で、繰越損益に充てるものはありません。繰越損益の△

4500万円は借金ではなく、今まで経営してきた中で赤字金額です。その不足分を資本金7000万円からまかなっている状態で、残金は2500万円となっています。

〔質問〕繰越損益金が増えていくが、24年度は前年度より赤字が増える見通しなのか。

〔回答〕9月末時点では黒字となっており、累積赤字は増えないと見込んでいます。

〔意見〕本物の桐タンスを作っているのでは、あとは営業努力しかないのではないか。

〔回答〕営業努力もしており、直販部門は昨年度と比較して伸びています。

〔質問〕タンスは個人に対して販売しているのか、法人に対して販売しているのか。これによって利益が変わってくると思うが。

〔回答〕法人に対する卸業は行っておらず個人販売だけです。また以前は委託販売を行っていましたが、現在は行っていません。

〔質問〕タンスの需要は今後見込めるのか。タンス以外にはどのような商品があるのか。

か。

〔回答〕小型タンスのほか、米びつ、博物館の収蔵用タンスなどに需要があると見込んでいます。

〔意見〕顧客のターゲットを絞って売ったらどうか。

〔回答〕桐材、製造技術ともに日本一といっても過言ではなく、それをアピールして販売に努めたいと思います。

〔意見〕町が出資してでも雇用を守るべきだ。会社を大きくして経営してほしい。工場がなくなってしまうと、若い世代はますます町から離れていってしまう。

〔回答〕県の緊急雇用制度を活用し、町内企業で20人ほど雇用していますが、永続的な雇用の創出が課題です。

〔意見〕桐の景観としては評価されているが、木材としての価格が上がらないため生産意欲が沸かない。

〔回答〕会津桐タンス(株)の経営を安定させ、少しでも高値で桐材を購入できるように努力します。桐をなくすこととはできません。

〔質問〕町内で伐採などの様子がないが、桐タンスの材料

調達はどうしているのか。

〔回答〕桐材の良しあしを見れる人がいなかったため、業者から購入していました。

〔質問〕桐を植えているが、3年後、会津桐タンス(株)がなくなつた場合、買ってくれないのか。その場合の援助はあるのか。

〔回答〕なくさないよう経営努力をします。「日本一の桐の里」として、桐栽培についても支援していきます。

### 4 その他

#### ◆桐について

〔質問〕桐とワラビを並べて植えるという指導があるが、効果はどうなのか。町は現場をみて評価しているのか。

〔回答〕桐の生育によくないという意見もあり、今後は評価の上、判断していきたいと思えます。

〔意見〕桐を育てるには焼畑が一番である。

〔回答〕美坂高原などで試行した経緯があります。

〔質問〕桐の育成は難しい。指導者はいるのか。

〔回答〕長年携わってきた方

を「桐ドクター」に委嘱し、栽培指導に当たっています。

〔質問〕 桐苗の配布が2年連続で遅れている。桐の町を復活させたいので、早く配布してほしい。

〔回答〕 今年は秋植えを想定して配布しましたが、来年度以降は早めに配布できるように努めます。

◆原発事故について

〔質問〕 原発事故により町が受けた被害の賠償請求はしているのか。

〔回答〕 米の全袋検査についてはJAを通じて賠償を受けます。その他、近隣町村と足並みをそろえて対応します。

〔質問〕 ふるさと振興公社の損害賠償額はいくらか。

〔回答〕 総額で1479万円の賠償を受けました。

〔質問〕 お知らせ版掲載の放射能測定結果で、落ち葉から365ベクレルが検出されたところだが、何ベクレルまで肥料に使用してよいのか。

〔回答〕 肥料などの基準値は1kg当たり400ベクレルですが、それに近い値なのでなるべく使用しないほうがよい

と思います。

〔質問〕 NHKラジオで、三島町は線量が下がってきているから放射能汚染重点調査地域から解除を検討しているところ聞いたが、最初は高いところがそんなにあったのか。

〔回答〕 そのNHKのニュース内容は間違いです。町として解除を決めてはいません。昨年、町内123カ所で調査し、基準値の0・23γシーベルトを超えた箇所もありましたが、0・24、0・25といった程度でした。その後の調査では全体的に下がっています。基準値0・23とは地上1

分の平均値であり、当町では局所的に超える箇所はあっても、平均値として超える地域はありません。また重点調査地域指定については、線量が高いからではなく、冬を越してどうなるか分からなかった心だと判断し、指定を受けたものであるのご理解いただきたいと思います。

〔質問〕 集水桝の線量が高いが、どうすればよいか。

〔回答〕 水が集まる場所は局所的に高くなります。きれいな土をかぶせれば線量は下がります。除去する場合は、地区内で仮置き場を確保してもらうこととなります。

◆その他

〔質問〕 豪雨災害関連の20億円の基金について聞きたい。

〔回答〕 豪雨災害で甚大な被害を受けた只見町、金山町に多く配分される見込みで、当町には2000万円が交付される見込みです。

〔質問〕 タクシーがなくなつて特に老人が困っている。金山町、只見町では予約制で運行しているようだ。三島町ではやらないのか。

〔回答〕 今後の公共交通については、デマンドタクシーも含め検討してまいります。

〔質問〕 「桐の里倶楽部」は指定管理者を公募したにもかかわらず町が運営しているが、そのメリットは何か。

〔回答〕 指定管理ではない運営方法もあるとの意見から、指定管理が議会で否決され、現在に至っています。町直営により、ふるさと荘と同じ料金を設定しています。食堂は使用者を募集していますが申

し込みがありません。当面、指定管理に戻すことは考えていません。

〔質問〕 みしまテレビでの議会中継を昨年から要望しているが、今年もできないのか。

〔回答〕 来年度からの実施に向けて検討しています。

〔質問〕 みしまテレビの番組を500円程度でダビングしてもらうことは可能か。

〔回答〕 料金を頂いてダビングするのではなく、放送した番組のDVDを無料で貸し出しすることを検討しています。

〔質問〕 防犯灯の問題は地区で対処するものなのか。

〔回答〕 地区で設置しているものですが、維持管理や電気料の負担が問題となっていることは承知しており、町としても検討しなければならぬと思っています。電気料が安くなるLEDへの移行を実施しようとしている地区もあります。

〔質問〕 民俗行事を継続させるにはどうすればよいか。

〔回答〕 近年は他地区の協力（子どもの参加など）による継承が見られます。また来訪

者の参加・協力も手段の一つと考えられます。

〔意見〕 土産品がないことが課題とされているが、町民が自発的に開発するのを待っているのか。町からの働きかけが必要ではないか。

〔回答〕 生産者、加工者、販売者をつなぎ、町の土産品を作ることを長年検討してきましたが、なかなかうまくいっていません。現在は山菜加工場の活用による商品開発に取り組んでいます。また自発的な取り組みに対しては、助成制

度がありますので活用していただきたいと思います。

〔質問〕 特に冬場は年寄りが回覧を回すのが大変なので、集約するなど何か工夫できないか。

〔回答〕 お知らせ版にまとめるようにしていますが、防災告知端末の活用も検討します。

〔意見〕 子どもが少ないので、運動会は保育所から高齢者まで一緒に開催したらどうか。

〔回答〕 良い面も悪い面もあるかと思いますが、児童の減少に伴い、合同開催も検討したいと思います。



三島保育所に飾られた団子の木

## 4 団子の木に夢を願う

### 三島保育所、三島小で「団子さし」体験

三島保育所と三島小の「団子さし」体験は1月11日にそれぞれ行われました。三島保育所では、子どもたちが団子丸めを体験し、ミズノキにさして飾りました。三島小では6年生が団子の粉をこねて、丸め方、ゆで方などを通して体験し、校内に飾りました。また行事の由来を調べて発表しました。老人クラブ女性部の10人の皆さんが指導に協力し、子どもたちが小正月の行事を知る機会となりました。

## 5 大雪の中で防火訓練

### 文化財防火デーに合わせ、名入・龍昌寺で実施

文化財防火デー（1月26日）に合わせた防火訓練は1月27日、名入地区の龍昌寺で行われました。町消防団、名入地区の皆さんなど40人が参加し、消防署、警察署が指導・協力しました。訓練は龍昌寺付近からの出火を想定。通報、初期消火、放水、文化財品の運び出しなどの訓練を行いました。二日前からの大雪のため、2メートル近い積雪があり、参加した皆さんは足元の悪い中、注意しながら訓練に取り組みました。



龍昌寺から文化財品を運び出す訓練を行った参加者



西方地区9組のサイノカミ

## 6 「サイノカミ」 各地区で実施

### 高齢化の中、それぞれ継承

国の重要無形民俗文化財「三島のサイノカミ」が町内各地区で実施されました。今年は1月15日が平日だったため、人手のある祝日の14日に実施した地区もあり、それぞれの事情の中で行われました。隣組ごとに実施してきた西方地区でも、高齢化、人手不足により近年は一部合同で行われています。西方9組では14日に準備し、15日夕方に点火。10人ほどの住民の皆さんが集まり、燃え盛る火に良い年を願いました。

## 7 佐久間宗一さんが事例発表

### 福島大学で地域づくり交流会

県内のさまざまな地域づくり実践者が集った交流会は1月23日、福島大学で開催されました。当町からは宮下・荒屋敷まちづくり委員会委員長の佐久間宗一さん（宮下）が事例発表者として参加し、住民協定「まちづくり作法」の締結、統一屋号看板の設置、空き店舗の活用、そばによるおもてなしなどの取り組みについて発表しました。そのほか西会津町や古殿町などの地域づくり事例も発表されました。



福島大学で開かれた地域づくり交流会

## 1 当町の無火災記録 1,748 日 更新まであと少しです。

### 雪の中、消防出初式



消防出初式パレードには、保育所の子どもたちで結成した幼年消防クラブも参加し、拍子木を打って「火の用心」と元気に声を上げながら行進した

町消防団出初式は1月6日に行われ、消防の心得を再確認し、一年の無火災を誓いました。本部幹部と各班長、消防署、警察署の方々などが、雪が積もった宮下の通りをパレードしました。また保育所の子どもたちで結成した幼年消防クラブも参加し、「火の用心」と元気に声を上げて火災予防を呼び掛けました。パレード終了後、三島神社に参拝し、無火災を祈願しました。

当町では1月25日現在、無火災が1,711日続いており、過去最高無火災日数1,748日の更新まであと少しです。



宮下町内を回り、三島神社へと向かった消防出初式パレード



三島初市で行われた「みかんまき」

## 2 初市の縁起物に、福を求めて集う スタンプ会主催の三島初市

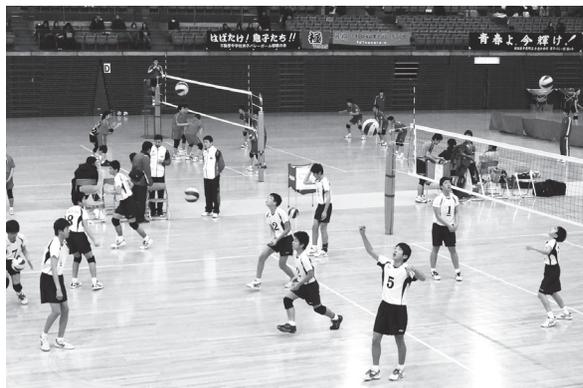
恒例の三島初市は1月13日、役場前で行われ、加盟店の出店が並びました。縁起物の起き上がり小法師なども販売されたほか、恒例の「みかんまき」が行われました。会津の習わし「みかんまき」は冬のまつりや行事で催され、縁起物としてみかんがまかれます。新年の福を求めて、みかんを拾いに集まる人々にぎわいます。

◆広報みしま紙面クイズの答えは、「みかん」でした。

## 3 強豪校との試合を経験

### 三島中男子バレーボール部 東北大会に出場

三島中男子バレーボール部は1月12日・13日、宮城総合体育館で開催されたプリンスカップ（東北大会）に出場しました。同部は昨年11月の県大会で3位となり、東北大会への出場権を得ました。大会には東北各県を勝ち抜いた32校が出場。三島中は予選リーグで船岡中、五所川原一中、山形八中と対戦し、健闘しましたが3敗で予選敗退しました。この悔しさをばねに、春に向けて練習に励む三島中を応援してください。



東北大会に出場した三島中男子バレーボール部

## 4 早戸で神社参拝と新年会

文・写真 町民記者 五十嵐信一さん（早戸）



新年会を行った早戸の皆さん

早戸地区で1月1日、神社参拝と新年会が行われました。午前10時、早朝に降った雪を踏みしめながら長い階段を登り、<sup>おおやまづみ</sup>大山祇神社を参拝しました。雪の多い年は、神社まで登れないこともありましたが、今年は無事登ることができました。その後、早戸生活改善センターで新年会を行いました。地区住民の方々が一堂に会するのは年に何度もあるわけではないので、大変盛り上がりました。今年も良い年でありますようにと、一人一人が願いながら散会しました。

## 5 宮下で新年会 初老、還暦を祝う

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）



新年会を行った宮下の皆さん

宮下地区の新年会は1月1日元旦、午前10時から宮下活性化センターで行われ、地区住民の皆さん40人が出席しました。長谷川誠区長が年頭のあいさつを述べ、初老、還暦を迎えた方々がそれぞれあいさつしました。続いて今年一年の地区の安全、発展を祈念して乾杯し、祝宴を開きました。

## 6 宮下地区のサイノカミ 一年の無事を祈る

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）



サイノカミの火に良い年を願う宮下の皆さん

宮下地区のサイノカミは1月15日、三島神社境内で行われました。前日の14日、地区住民の皆さんがサイノカミを立てる作業を行いました。翌15日の午後6時30分、長谷川誠区長を先頭に還暦、初老の方々が三島神社において御神火を採火し、サイノカミに点火。集まった地区の皆さんは今年一年の無火災、健康、安全などを祈りながら、燃え上がる炎に手をかざしていました。

# ズームイン6

## 町民記者の地元密着通信

### 1 県の文化財 数々の初春行事を受け継ぐ

文・写真 町民記者 角田伊一さん (川井)



「初田植え」を行う森田勝さん (川井)

1月15日の小正月にはいろいろな民俗行事が行われます。サイノ神・団子さし・鳥追い・カラス追い・道具の年取り・なが虫除け・成木責め・初田植えなど、早朝から夜遅くにかけて一日中祭事が続きます。これらの行事はすべて新年の五穀豊穡を祈願するもので、民俗学では予祝行事と呼ばれます。三島町ではこれらの行事が今なお受け継がれており、祭事の内容も古式にのっとり、極めて価値が高いと認められ、「三島の初春の行事」として一括県指定の重要無形民俗文化財に登録され、サイノ神は国の重要無形民俗文化財に登録されています。川井の森田勝さんは、初田植え・道具の年取りの継承者で、毎年1月15日の早朝に行っています。

### 2 古峯神社参拝 4地区から32人が参加

文・写真 町民記者 角田伊一さん (川井)



古峯神社参拝に参加し、親睦を深めた皆さん

今年も新春恒例の古峯神社参拝（こぶがはら参り）が各地区で実施されました。鎮防火燭、五穀豊穡を祈願する古峯神社への代参は江戸時代から行われており、当町の古峯講の歴史も古いものです。1月11日には西方・名入・大登・川井地区の講中から32人が代参しました。近年の参拝は観光も兼ねており、御札を頂いた後は北関東周辺の観光地を巡ることが多いです。今回は茨城県大洗周遊コースで、益子焼、笠間稲荷神社、村松山虚空蔵尊などを巡り、大洗ホテルでの懇親会は大いに盛り上がりました。

### 3 新春麻雀大会 にぎやかに初笑い

文・写真 町民記者 渡部 和さん (大石田)



和気あいあいと麻雀を楽しんだ大石田の皆さん

大石田地区の「新春麻雀大会」は1月14日の祝日、大石田生活改善センターで行われました。地域の親睦のために始まったこの催しは今年で2回目。集まった21人の麻雀愛好家たちが、昼食をはさんで一日にぎやかに麻雀を楽しみました。参加者にはもれなく賞品が用意され、外の雪も吹き飛ばす初笑いで大いに盛り上がりました。

# 民話

第23話  
やくびょうがみ  
疫病神

むかしむかし、川があつてな。そこに渡し場があつただ。

なんでもがちゅうと向こうからこつちさ川渡る人がいたわけよ。

ある時、その渡し場の渡し守の舟のときさ、貧乏くせえ爺さまが来ただど。

「おめえは何者だ」  
ちゅつたら、

「わたしは病気の神様だ」

ちゅつたど。そんだから渡し守は、「病気の神様くち、病気はやらせる神様が」

どつて聞いたわけや。したらば、「いかにも、疫病神だわい」

ちゅつたのな。そんで渡し守は、「渡してやれねえ。この村病気がなつたら大変だから」

ちゅつたら、

「んだ。おめえの家だけ寄らねえがら、渡してくれ」

と言うんだど。そんじえ、

「おれの家、どうやってわがんだ」どつて言つたら、

「んくん、なら、何かしるしのあるもの、門口さかけておけ」ちゅうだど。

そんで渡し守は考えたなあ。

「んだ。そんじやら、おれの家の門口さ、カゴさげとくがらな。カゴ

さがつた家がおら家だから、その家さは寄んねえでくる」

「ああ、わがつた。おめえの家さは寄んねえ」  
と決めたど。

「そんじやら明日渡ししてやつから、明日の何時にここさ来らっしえ」

どつて言うと、渡し守はその日の夜のうちに、村中の家回つて門口さメゲエをかけてもらつたど。

次の日、疫病神は川を渡してもらつたが、どの家にも門口さメゲエがかかつていて、どの家にも病気を

おいていぐよなかつたど。それからこんだどの家でも、カゴな、メゲエをさげて、疫病神除けするようになつただど。

ざつとむかし、栄え申した。

掲載協力者 小柴さん(西方)

再話 五十嵐七重さん(西方)

## Information

### 縣市町村広報コンクール

#### 当町が特選

第58回縣市町村広報コンクールの審査会は1月24日、県庁で行われ、当町の広報みしま12月号が広報誌(町村の部)特選に選ばれました。県と県広報協会の主催で、平成24年中に発行、発表された広報作品が対象。広報みしま12月号は、住まいについての特集や、町民記者の寄稿など住民と一体となった広報誌作りが評価されました。特選作品は全国広報コンクールに推薦されます。



広報誌(町村の部)特選に選ばれた広報みしま12月号

### ご寄附

ありがとうございました

町社会福祉協議会へ  
(ご遺志によるもの)

管 家 孝 弘 様 (大 谷)

二 瓶 正 雄 様 (大 谷)

小 柴 弘 一 様 (高 清 水)

若 林 喜 代 雄 様 (間 方)

目 黒 鬼 佐 雄 様 (早 戸)

## 2月の納税

納期限 2月28日

- ▶固定資産税 第4期
- ▶国民健康保険税 第6期
- ▶介護保険料 (普通徴収) 第6期
- ▶後期高齢者医療保険料 (普通徴収) 第7期

忘れずにお納めください。

役場 町民課



プレイバック 広報みしま No.1  
1995年(平成7年)4月号から



全校生徒で水泳の伝統を築いてきた西方中の生徒たち  
(1994年夏)

### 西方中の特設水泳部 河沼方部大会 17 連覇

西方中は、河沼方部中体連水泳大会男女総合17連覇などが評価され、会津水泳連盟から特別優良校として表彰されました。西方中では毎年、まだ肌寒い5月から水泳練習を始め、全校生徒が一つになって大会に臨んできました。昨年の河沼方部大会では、男子が16種目中14種目で優勝、女子は15種目中7種目で優勝し、見事に17連覇を達成しました。

新たにスタートした三島中でも、この素晴らしい伝統を引き継いでほしいものです。

※1995年(平成7年)4月から、宮下中と西方中が統合し、三島中となりました。



文・写真 町民記者 渡部 和さん(大石田)

### 大石田の「七日堂」

福一満虚空蔵御開扉



虚空蔵堂に参詣した大石田地区の皆さん

大石田の「七日堂」は1月7日、同地区の虚空蔵堂で行われました。延命寺でのお年始・お日待のあと、厄年の人を中心に虚空蔵堂へ参詣。善男善女たちが雪の山道を登り、年に一度、この日だけ扉が開く本尊様に健康と平安を祈りました。雪解けとともに再開される参道づくりも話題になり、新しい年の始まりに気持ちを新たにしました。



文・写真 町民記者 渡部 和さん(大石田)

### 雪原に野生動物の足跡

山間部の大石田地区では、晴れた朝、雪の上にさまざまな野生動物の足跡を見つけることができます。ノウサギ、テン、キツネ、カモシカなど、昼間はなかなか会えない野生動物たちの足跡を探して歩くのも、冬の楽しみのひとつ。写真は、大石田地区の、とある場所。沢に囲まれた雪原の中央を横切るように、大きな足跡が続いていました。さて、この足跡の主は誰でしょうか。



雪原に見られる野生動物の足跡(大石田地区)

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯 (12月)

0件

「家族の絆」が被害を防ぐ  
振り込め詐欺・悪質商法  
被害急増中

振り込め詐欺などの被害を防ぐには、「家族の絆」をつくっておくことが、詐欺を見抜く手助けとなります。

振り込め詐欺の電話は、どの家庭にもかかってくる可能性があることを認識し、家族で事前に約束事を決めておくことです。

例として、

★家族しか知り得ない「合言葉」を決めておく。(相手が家族ではないことが分かる)

★お金にかかわることは、必ずほかの家族にも相談する。(冷静に考えるきっかけとなる)

★遠方で暮らす家族とも日ごろから連絡を取り合う習慣をつくっておく。(声や話し方、近況などの違いに気付ける)

街頭犯罪発生数(平成24年の1年間)

区分	管内	三島町
強盗		
空き巣ねらい	2	
忍び込み	2	
事務所荒らし	1	
出店荒らし	1	
自動車盗	1	
オートバイ盗		
自転車盗	21	
自販機ねらい	2	
車上ねらい	4	
ひったくり		
部品ねらい		
強制わいせつ	1	
街頭犯罪合計	35	0
全刑法犯	134	11

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

ふくしま大卒等  
ジョブフェア

大学等を平成26年3月に卒業予定の方を対象に、県内企業の説明会を開催します。

ふくしま大卒等ジョブフェア in 郡山

- ◆開催日 3月4日㊦
- ◆場所 ビッグパレットふくしま(郡山市南2-52)
- ◆内容 10:30～就職支援セミナー  
13:00～合同企業説明会
- ◆企業 県内150社予定
- ㊦郡山新卒応援ハローワーク  
☎024(927)4633

ふくしま大卒等ジョブフェア in 福島

- ◆開催日 3月18日㊦
- ◆場所 ウエディングエルティ(福島市野田町1-10-41)
- ◆内容 11:00～就職支援セミナー  
13:00～合同企業説明会
- ◆企業 県内100社予定
- ㊦福島新卒応援ハローワーク  
☎024(534)0466
- ※事前申込不要
- ※参加企業は開催一週間前に福島労働局ホームページで公開します。

ふくしま大卒等  
合同就職面接会

大学等を平成25年3月に卒業予定の方、平成22年3月以降に卒業し現在就職活動中の方を対象に、正社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を開催します。

- ◆開催日 3月12日㊦
- ◆会場 ビッグアイ(郡山市駅前2-11-1)
- ◆内容 12:00～直前相談  
13:00～合同就職面接会
- ◆企業 県内30社予定
- ※事前申込不要
- ※参加企業は開催一週間前に福島労働局ホームページで公開します。
- ㊦福島労働局 職業安定課  
☎024(529)5396

ちびっこ探検学校  
ヨロン島 参加者募集

文部科学省所管の(財)国際青少年研修協会では、「第37回ちびっこ探検学校ヨロン島」の参加者を全国から募集しています。サンゴ礁の海が広がる自然の中での野外活動を通して、友達づくりの楽しさ、協力し合うこと、積極的にチャレンジする心を養います。また在日外国人小学生との活動により、言語や習慣を超えて友情を深め、国際感覚を身に付ける第一歩とします。

- ◆期間 3月26日～4月1日(6泊7日)
- ◆場所 鹿児島県大島郡与論町
- ◆説明会 福島会場  
2月11日㊦ 15:30～  
会場/福島テルサ(福島市上町4-25)  
☎024(521)1500

※説明会に参加できない場合は、詳しい資料を郵送しますのでお問い合わせください。

- ◆対象 小学2～6年生(2月末現在)
- ◆定員 日本人小学生200人  
在日外国人小学生100人
- ◆締切 3月6日㊦(先着順)
- ◆出発地 県内は福島駅  
※全国各地に出発地がありますのでお問い合わせください。
- ◆参加費 146,000円(福島駅から)  
※出発地によって参加費が違います。
- ㊦(財)国際青少年研修協会  
〒108-0073東京都港区三田5-7-8-921  
☎03(6459)4661

町の人口と世帯

1月1日現在

人口	1,907	-1	出生	1
男	914	-1	死亡	4
女	993	±0	転入	4
世帯	837	+2	転出	2

※住民基本台帳による数値です。

## 保健・子育て・健康づくり

☎ 町民課 ☎ (48) 5565



### 実施予定

#### ● 4カ月児健診

2月19日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院  
3月12日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

#### ● 乳幼児健診

2月26日(火) 13:10～ 町民センター  
《対象》乳児、1歳6カ月児、2歳児

#### ● 足腰げんき教室

##### ▶ 室内運動編

2月5日(火) 13:30～ 町民センター  
3月12日(火) 13:30～ 町民センター

##### ▶ 水中運動編

2月19日(火) 13:00 町民センター集合  
(河東学園プールへ送迎)  
3月28日(木) 10:00 町民センター集合  
(リステル猪苗代へ送迎)

#### ● 機能訓練会

2月13日(水) 14:00～ 福寿草  
3月27日(水) 14:00～ 福寿草

#### ● 心の健康相談 (※事前申し込み必要)

2月18日(月) 13:30～ 福寿草  
3月25日(月) 13:30～ 福寿草  
《申込先》町民課 ☎ (48) 5565

### 当町の降雪・積雪の推移 単位/cm

月日	宮下(役場付近)			間方	
	降雪量	降雪累計	積雪量	積雪量	
1/14	3	383	62	113	
1/15	14	397	74	147	
1/16	3	400	75	141	
1/17	7	407	82	141	
1/18	15	422	90	147	
1/19	30	452	100	181	
1/20	10	462	100	176	
1/21	0	462	88	167	
1/22	2	464	85	159	
1/23	0	464	79	153	
1/24	0	464	76	146	
1/25	5	469	75	147	
1/26	85	554	135	222	
1/27	50	604	145	230	
1/28	0	604	134	208	

## 地域ふれあいサロン

### 川井友愛サロン

2月12日(火) 10:00～ 川井集会所

### 大石田友遊サロン

2月21日(木) 10:00～ 大石田生活改善センター

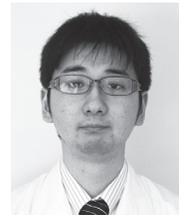
☎ 町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

### 県立宮下病院から

#### 診療日記

「咳が続くのですが、  
大丈夫ですか」

柏木 真人 医師



「風邪をひいてから1～2週間ぐらい咳が続いています」  
さて、これは異常でしょうか。答えは正常とも異常とも言い切れません。一般的な風邪の定義としては、「鼻水、のどの痛みなどの症状は1週間以内に改善することが多く、その後咳を伴うことがあり、鼻症状、咳は2週間程度継続する症例がある」とあります。つまり2週間程度の咳は風邪でも十分にあり得るのです。ではどれくらい続いたら明らかに異常なのでしょう。それはもちろん3週間以上続いたらということになります。

咳の原因としては、ウイルス(いわゆる風邪)のほか、咳喘息(夜中に咳がひどくなる喘息の近縁疾患)、アトピー(特にカビ、ハウスダストなどのアレルギー)、副鼻腔炎(いわゆる蓄膿症)などが多く、その他、逆流性食道炎(胃酸の逆流)、薬(高血圧の薬の一部など)、タバコ(1カ月の禁煙で治る可能性もあります)、肺炎(熱が続きます)、百日咳、肺癌、心不全(むくみが出ます)などと多彩です。

咳の本来の働きは、体内に入ってきた異物(バイ菌、アレルギーなど)を外に出そうとするものですので、咳が出始めてすぐに咳止めなどを使ってしまうと治る邪魔をしてしまうかもしれません。症状が辛い場合や夜型の咳(喘息などの関与が疑われます)の場合を除いては、薬よりもマスクや加湿器などによる乾燥対策をし、他の人にうつさないよう努めたほうがよいでしょう。

それでも良くならない場合、先ほど述べたとおり内臓の病気や薬などが原因といったこともあります。咳が心配で受診される際には、治療している病気やお薬などが分かるものを持参し、また他の人の迷惑にならないようマスクをしての受診を心がけましょう。

# 「撮」つておきのみしま町

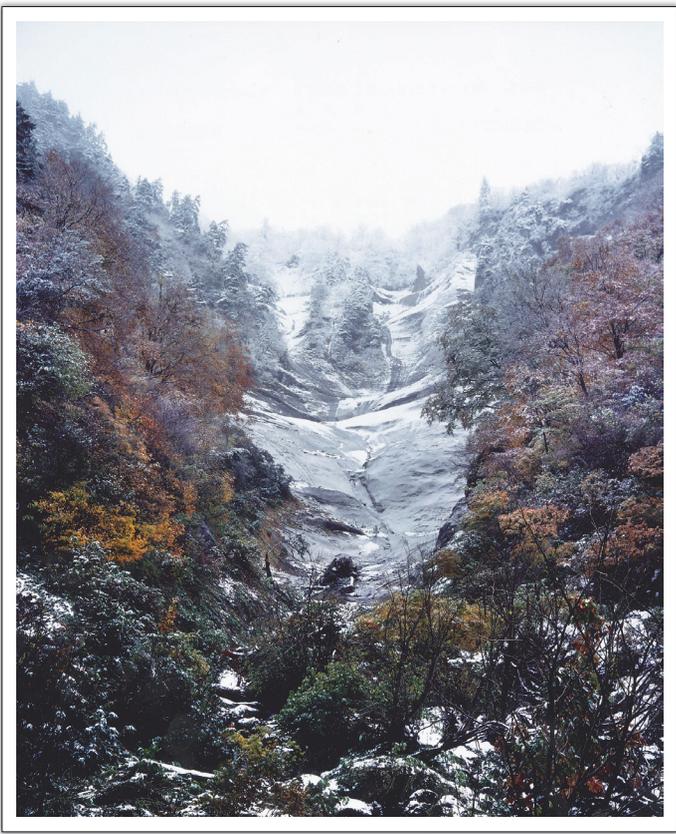
## フォトコンテスト入賞作品

第2回「撮」つておきのみしま町フォトコンテストの表彰式は1月26日、交流センター山びこで行われ、最優秀賞に選ばれた藤間道徳さんなど入賞者5人を表彰しました。コンテストには20人から44点の応募がありました。作品は3月24日まで山びこに展示します。

### 【最優秀賞】

志津倉山 雨乞い岩を望む  
藤間 道徳さん（会津坂下町）

宮下町内は冷たい雨であった。入間方集落を過ぎ、登山口から30分歩くと、目の前に雪をかぶった志津倉山が見えてきた。辺りの紅葉と白い雨乞い岩。なんと美しいことだろう。



### 【三島町長賞】

花やぐ里山 鈴木 國雄さん（郡山市）

大林公園にカタクリを見に行く途中、山肌に鮮やかな山桜が見事に咲いていた。

### 【写真クラブ会長賞】

三島神社でハイ、チーズ!!  
栗城 浩美さん（三島町）

母子代々、七五三はここへお参りに来ました。



### 【交流センター山びこ賞】

手捌き  
鈴木 孝二さん  
（会津若松市）

編み組の手仕事。長寿の歳月とともに積み重ねられた指先が、もの言わずに手捌きよく動いている様子を撮影した。



### 【交流センター山びこ賞】

豆ぶち  
渡部 和さん（三島町）

義母が嫁に来た頃から、この豆ぶちのマトイ（棒）はあったという。台にした板は味噌樽のふた。道具も、お母さんも、まめで達者だね。

